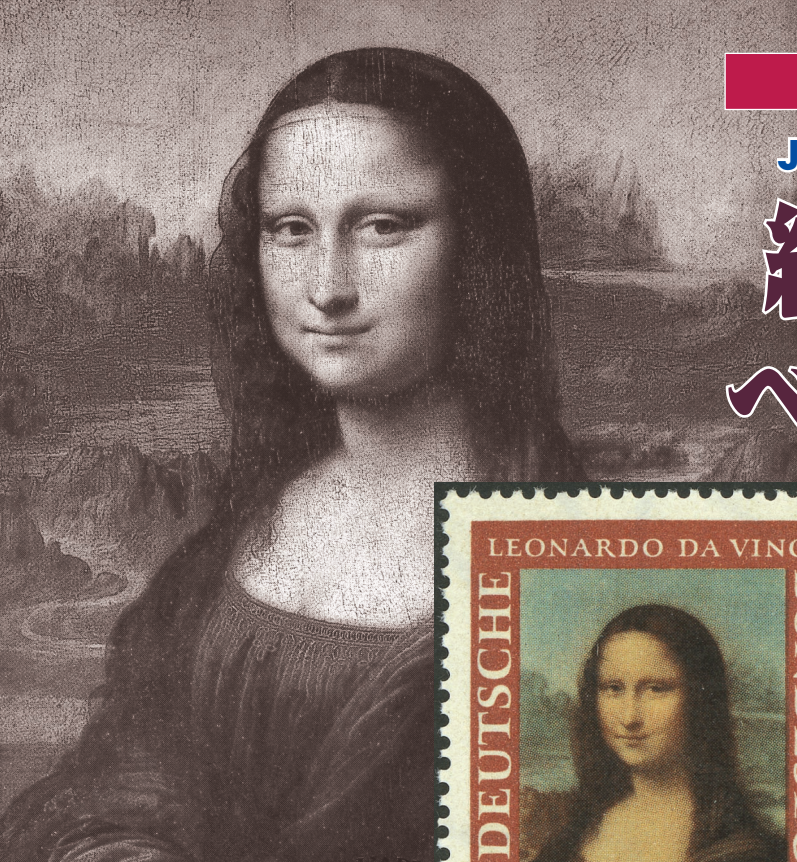


JPS絵画切手部会が選ぶ

絵画切手 ベスト50!!



▲ポストカードより。

1位



世界的な名画をはじめ、これまでに数多くの名画がデザインされ、人々を魅了してきた“絵画切手”。今回はJPS絵画切手部会の皆様にご協力をいただき、“〈絵画切手〉ベスト50!!”をご紹介します。古今東西の美しい名画の数々をお楽しみください。(編)

[構成・監修] JPS絵画切手部会

2位

謎に包まれた世界的名画を題材にした最初の切手

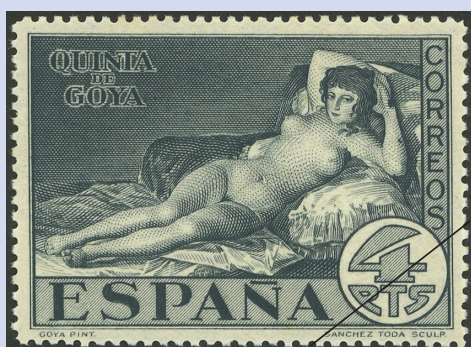
モナ・リザ(レオナルド・ダ・ヴィンチ/ルネサンス/1503年) [西ドイツ・1952年]

「モナリザ・スマイル」と呼ばれる謎に包まれた微笑みと佇まいで、古くから多くの人を魅了してきた世界的名画。作品を所蔵しているフランスをはじめ、世界各国から40数点切手が発行されているが、最初に発行したドイツ切手が1位に選ばれたのは多くの方が納得するところだろう。1974年来日。[150%]



ポストカードより。

3位



物議をかもした“裸体”を描く絵画

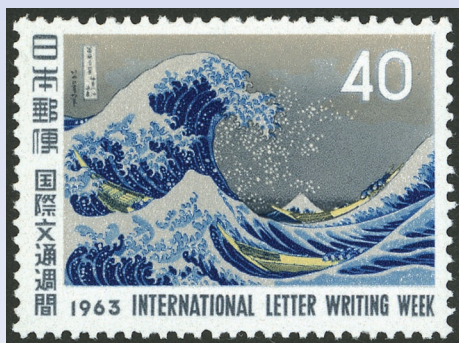
裸のマハ(ゴヤ/近代絵画の創始者/1795-1800年頃) [スペイン・1930年]

大胆で流れるような筆触で描き込まれた、惑わすような微笑を浮かべる「マハ」の姿は、二点の「裸のマハ」、「着衣のマハ」として世界的に知られている。当時、スペインで問題になり、ゴヤは裁判所に呼ばれたが、絵の依頼人について口を割ることはなかった。裁判の後、この絵は100年弱の間、プラダ美術館の地下に収蔵され、公開されたのは1901年のこと。「裸のマハ」が切手になった際も、キリスト教国の一部では輸入禁止になるなど物議をかもした。2002年来日。[130%]

絵画を見事に再現した大型門版切手

「春」より三美神(ボッティチェリ/ルネサンス/1482年頃) [モナコ・1995年]

「ヴィーナスの誕生」と並び、ウフィッツ美術館を彩る名画「春」の「三美神」。三美神は、ヴィーナスの侍女で、ヴィーナスの徳である「愛・美・貞潔」を象徴する。三美神の右上に恋の司祭であるキュービットが、矢を三美神中央の「貞潔」に向けており、誘惑しているとも捉えられる。[90%]



富嶽三十六景「神奈川沖浪裏」(葛飾北斎／浮世絵師／1831-33年・江戸後期)〔日本・1963年〕

北斎は、江戸末期の代表的な浮世絵師である。68歳から72歳の晩年、富士山と人間をとともに描いた「富嶽三十六景」を世に出した。「神奈川沖浪裏」は、「凱風快晴」、「山下白雨」とともに“三大作”または“三役”といわれる。北斎は75歳の時、「富嶽百景」も刊行している。〔150%〕

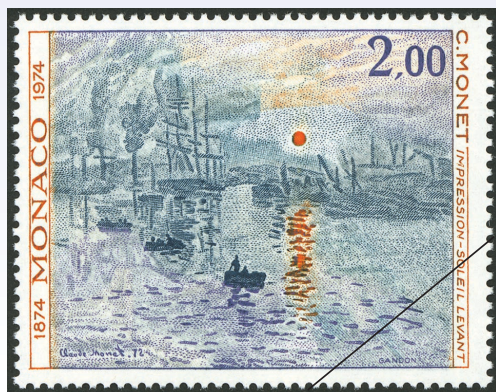
4位

【4～10位】

日本では北斎「神奈川沖浪裏」が最上位にランクイン！
「フランス美術シリーズ」は2点が“ベスト10”入り！

※2～3ページ、特記外、120%拡大。

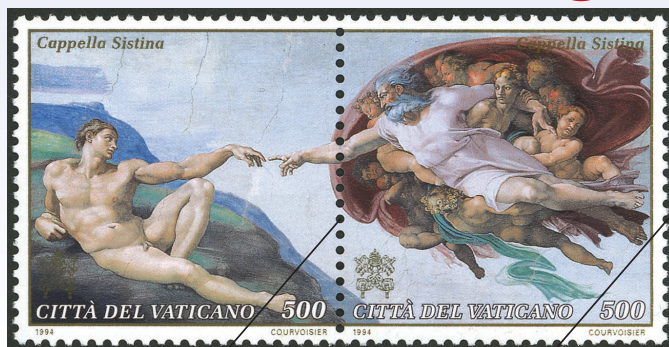
6位



印象一日の出(モネ／印象派／1872年)〔モナコ・1974年〕

印象派の出発点となった記念すべき作品。反サロン勢力の画家たちの共同展を、時の批評家が「印象を描いたに過ぎない」と酷評し、命名の由来となった。モネは、後にも寺院、積み藁、池の睡蓮など同一素材の異なった時刻の光の表情を連作形式で発表し続けた。

5位



アダム創造(ミケランジェロ／ルネサンス／1510年)〔バチカン市国・1994年〕

フレスコ画「天地創造」の9つの場面は、天地創造から人間の墮落、大洪水、ノアによる人類の再生までの創世紀の物語を描いている。4番目の「アダム創造」は、優雅に浮遊しつつアダムに接近し生命を吹き込む神と、けだるいポーズで神に手を差しのべる誕生したばかりのアダムが描かれている。

【絵画切手とは】

絵画切手とは、切手のデザインとして既成の絵画を取り上げたもので、市販の美術全集に掲載されている名画がその主体となります。しかし、それらに掲載されないような地方画家が描いた絵画でも、切手として出来栄のいいものが数多くあります。

切手自体が方寸の絵画であることから、その題材に既成の絵画が早くから取り上げられたのは当然のことで、最初の絵画切手が発行

されてからすでに約160年が経過しています。

切手図案は「ミニアチュール(細密画)的であり、俳句的でなければならない」といわれます。そのため、図案表現は単に縮小されたものではなく、切手独自の表現技術により、名画も方寸の切手の中に収められています。また、見事な凹版彫刻技術や印刷技術の進歩による多色刷りなど、切手の制作条件が揃い、名画切手は世界各国が競って発行しています。

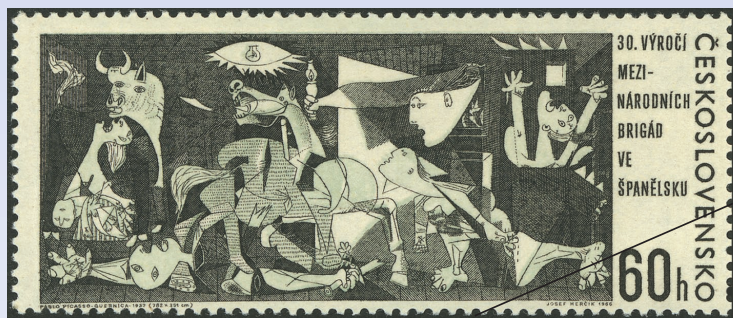
【絵画切手発行の変遷】

絵画切手の最初のもは、まだ正式な切手が発行される以前の1845年に、ニューヨークの郵便局長が発行した5セント切手といわれています。切手の図案は、アメリカ建国の父「ワシントンの肖像」で、肖像画家スチュアートの描いた肖像画がベースになっています。

郵政で発行したものでは、1847年



ワシントン (アメリカ・1847)



ゲルニカ(ピカソ/20世紀最大の画家/1937年)〔チェコスロバキア・1966年〕

スペイン内乱中の1937年4月26日、フランコ側を支援するナチス・ドイツ軍がバスク地方の古都ゲルニカを爆撃した。ピカソはこの事件に強く反応し、実質的に約1ヵ月で戦争の残虐を訴える縦349.3×横776.6cmの大作「ゲルニカ」を完成し、パリ万博のスペイン共和政府館に飾った。

7位



8位

ポッピンを吹く女(喜多川歌麿/浮世絵師/1792-93年・江戸中期)〔日本・1955年〕

歌麿は、葛飾北斎と並び国際的に知られる浮世絵師で、繊細で優麗な描線の特徴とし、さまざまな姿態、表情の女性美を追求した。ポッピンを吹く女は、組物「婦女人相十品」の1枚、箱入り娘の気味が溢れる美人画となっている。[110%]

9位



青い裸婦Ⅱ・Ⅲ(マティス/近代フランス/1952年)〔フランス・1961年〕

フランス美術シリーズ第1回発行4種のうちの1種。若い頃は、野獣派の一人であったマティスが、生涯最後の数年間に手がけた「切り紙絵・青い裸婦」の2作品である。予め青色のグアッシュで着色した紙を鋏で切り、貼り合わせたもので、美術界を魅了する形式まで高めた。

10位



リースを編む女性(フェルメール/17世紀オランダ/1665年頃)〔フランス・1982年〕
フェルメールの作品中、最小寸法(縦24.5×横21.0cm)の優美な珠玉の作品。背景に全く何も描かれていない分、編み物に一心不乱に集中している少女の姿に惹き付けられる。2009年初来日。

発行のアメリカ最初の切手2種、前述「ワシントンの肖像」とデュプレシス画の郵政長官「フランクリンの肖像」になります。

その後も、寄付金付き切手、記念切手として絵画が採用されました。図案に採り上げられる絵画は、記録的な資料としてだけではなく、感動を与え、訴求力をもつ名画が選ばれるようになりました。

1930年代には、ゴヤ「裸のマハ」(スペイン・1930年3＝順位、以下同)、シュヴィント「シンフォニー・新婚

旅行」(オーストリア・1933年35)、デューラー「若いヴェネツィア婦人の肖像」(ドイツ・1939年17)、ルーベンス「麦わら帽子」(ベルギー・1939年48)が切手に。1950年代には、レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」(西ドイツ・1952年1)、レンブラント「石堀に肘を付く自画像」(オランダ・1956年44)などが登場しました。

また、1940年代から50年代に発行された、リヒテンシュタインの名画シリーズや、デッド・カントリーとなったザールの名画切手

「梨を持つ聖母子」45は切手としても素晴らしい出来栄です。

【日本の絵画切手】

日本では切手趣味週間シリーズとして、1948年に菱川師宣の「見返り美人」11、翌年に広重の「月に雁」23が大型単色切手として発行されました。1955年には歌麿の「ポッピンを吹く女」8が大型のグラビア多色刷で発行され、浮世絵好きのヨーロッパで人気が高まり、フランスやスペインの絵画切手シリーズへと繋がりました。



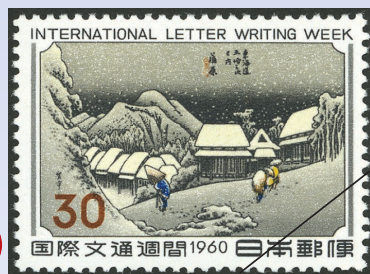
11位 見返り美人(菱川師宣/浮世絵師/1692年頃・江戸初期)〔日本・1948年〕
日本最初の大型切手。師宣の肉筆画で、最も知られた作品。歩みの途中でふと足を止めて振り返った姿が印象的。〔110%〕



民衆を導く自由の女神(ドラクロワ/ロマン主義/1830年)〔フランス・1999年〕

1999年にフランスと日本の交流展(東京国立博物館)に来日。日本の記念切手としても登場した。〔110%〕

12位



東海道五拾三次之内「蒲原 夜之雪」(安藤広重/浮世絵師/1833-34年・江戸後期)〔日本・1960年〕

保永堂版「東海道五拾三次」の中で、「亀山・雪晴」、「庄野・白雨」と並び、最も優れた作品。深々と降り積もる雪の夜、行き交う人々は背を丸めて無言。闇に浮き上がった辺り一面を静寂が支配している。

13位

【11～20位】

※4～5ページ、特記外、120%拡大。

「ダ・ヴィンチ」から「写楽」まで国内外の名画が登場！



14位 フローラティツァーノ/ルネサンス/1515年頃(イタリア・1976年)
髪を解いた若い美女が豊饒の女神のように表現されたこの作品は、女神フローラの寓意画として描かれている。モデルは、画家が愛した娘との説もある。



15位

白貂(てん)を抱く婦人の肖像(レオナルド・ダ・ヴィンチ/ルネサンス/1485～90年頃)〔ポーランド・1956年〕
モデルは、ミラノ公ルドヴィコ・イル・モローの愛妾と推定されている。白貂は、純潔のシンボルでもあるため、女性の肖像画に使われたと思われる。2002年来日。

その後も毎年、浮世絵(写楽「市川蝦蔵扮する竹村定之進」16など)や近現代のもの(黒田清輝「湖畔」21など)まで、数々の名画切手が発行され、現在も続いています。

また、国際文通週間シリーズとして、1958年からは広重の東海道五拾三次(「蒲原 夜之雪」13など)が発行され、北斎の富嶽三十六景(「神奈川沖浪裏」4、「凱風快晴」18)など、現在も継続しています。

西洋絵画史においても、19世紀

印象主義などに多大な影響を与えたジャポニスムと同じように、日本の浮世絵切手が絵画切手収集の人氣に火をつけたことは、日本人として喜ばしい限りです。

【名画切手ブームの到来】

本格的な名画切手ブームの火付け役になったのは、フランスの「美術切手シリーズ」です。最初の発行は、1961年のマティス「青い裸婦Ⅱ・Ⅲ」9、セザンヌ「カード遊びをする男たち」27などの4種セ

ットで、毎年3～4種発行され、現在も続いています。フランス郵政独自の凹版とオフセットを重ね刷りした多色印刷の出来栄もよく、大判切手のデザインも素晴らしいものです。

また、最近では平版多色刷り切手(フェルメール「レースを編む女性」10、モネ「夕映えの睡蓮」31など)も多く見られますが、これも原画に見劣りしない出来栄です。

スペインでは、「切手の日記念シ



16位

竹村定之進(東洲斎写楽／浮世絵師／1794年・江戸中期)〔日本・1956年〕

僅か10ヵ月の制作期間という“幻の浮世絵師”写楽の代表作「役者シリーズ」。市川蝦蔵扮する芝居「恋女房染分手綱」から取材した作品。バックを雲母(きら)刷りして表情の深みを表現している。[110%]



17位

若いヴェネツィア婦人の肖像(デューラー／ルネサンス／1505年)〔ドイツ・1939年〕

2回目のヴェネツィア旅行時の作品。16世紀初めのヴェネツィア風仕立ての衣装をまとった、女性の顔の固い輪郭線を、色彩的な柔らかさで溶かす手法をとっている。[150%]



富嶽三十六景「凱風快晴」(葛飾北斎／浮世絵師／1831-33年頃・江戸後期)〔日本・1996年〕

「赤富士」と呼ばれ親しまれている世界的な名画。裾野は草色、六合目からは赤茶色に染め分けられている。なお、凱風とは“南風”をいう。[110%]

18位



19位

最晩年の傑作の一つ。建物の細部をほぼ正確ではあるが、激しい筆使いでデフォルメさせて描き上げ、教会の近寄りた異様な様子をより一層強調している。

オーヴェールの聖堂(ゴッホ／印象派／1890年(フランス・1979年)



20位

グランド・ジャット島の日曜日の午後(スーラ／印象派／1886年(国連ウィーン事務局・1992年)戸外の光の中、セーヌ川のほとりで憩うパリジャンたちを、3年の年月をかけて描いた近代生活のミニメント作品。その間、油彩習作約34点も描く。

リーズ」として、1958年にゴヤの絵画10種が発行され、その後も毎年、ベラスケス(「宮廷の侍女たち」39)、エル・グレコ(「聖家族と聖アンナ」38)、ムリーリョ(「善き牧者としての幼児キリスト」42)、ピカソなどスペインの有名画家の切手が7~10種セットで発行されましたが、残念ながら1979年で途絶えてしまいました。

また、チェコ発行の大型凹版印刷「美術切手シリーズ」(ルソー「風景の中の自画像」36、ピカソ「自画像」49)も

素晴らしい出来栄の切手です。

今回の“ベスト50”では、こうした「西洋絵画」と「日本絵画」に限定して選出しています。

【「ベスト50」切手の選定】

本年7月、編集部から『郵趣』のカラーページ企画として、今回の「絵画切手ベスト50」のお話があり、絵画切手の素晴らしさと収集の楽しさを、皆さまにご理解をいただける絶好のチャンスということで喜んでお受けしました。

しかし、世界各国から発行されている絵画切手は約4万5,000枚もあります。その中から、どのようにベスト50を選出するのか、部会役員など5人で相談しながら、次の通りに運ぶこととしました。

最終的な順位は、部会員へのアンケート調査を行い決定することとし、まずは5人でアンケート調査をするための候補切手を抽出しました。選定に当たっては、画家の生没国や活躍国、絵画の制作地



湖畔(黒田清輝/洋画家/1897年)
【日本・1967年】

フランスに留学し、印象派の影響を受け、帰朝後、活躍。「近代日本洋画の父」といわれた黒田が、23歳の照子夫人を芦ノ湖畔の宿の裏庭で、旅愁を潤ませて美しく描いている。

21位



泉(アングル/新古典主義/1820年頃～56年)【モナコ・1980年】

古代から「泉」は「生命の水の源」とされ、楽園の表現として欠かせないモチーフだった。この壺を持つ泉の擬人像是、パリの<イノサンの噴水>(1549)による。

22位



月に雁(安藤広重/浮世絵師/1830年頃・江戸後期)【日本・1949年】
「見返り美人」とともに戦後の切手ブームの立役者、花鳥画「雲上の大輪の図に雁三羽」の部分。

23位

【21～30位】



花束を持って挨拶する踊り子(ドガ/印象派/1878年頃)
【フランス・1970年】

厚紙にパステルで、踊り子たちの舞台での華やかな姿のみならず、練習風景、休息などを描いている。

24位



リュートを弾く若者(カラヴァッジョ/バロック/1590年頃)【ソ連・1966年】

激情の画家カラヴァッジョの初期様式の頂点を示す傑作。前景には初期様式によく見られる譜面やヴァイオリン、生け花などの静物が配され、また主題となる若者は虚ろ気にとちらを見つめている。

※6～7ページ、特記外、原寸。

25位



手紙を読む女(フェルメール/17世紀オランダ/1658年頃)
【東ドイツ・1955年】

左から光が入ってくる部屋の中で、女性が一人佇んで手紙を読むフェルメールの定番の構図。この作品は、当初レンブラントの作品とされていたが、1858年フェルメール作と認められた。[120%]

26位

や所蔵国など、極力、ゆかりのある発行国の切手に絞り込みを行うこととし、何回もメールのやりとりをしてまず約200枚程度に絞り込み、さらにアンケート調査用に100枚の切手を抽出しました。

ややもすると馴染みの深い日本切手や、美術シリーズで人気の高いフランス切手が多くなることが、人気画家の作品が多くなることが予測されたため、日本切手は20枚、

フランス切手は10枚以下、画家は一人最高2枚までとしました。また、発行国、発行年、印刷方式、作品主題、制作年なども偏らないように配慮したつもりです。

加えてアンケートでは、抽出した切手以外にも、それぞれの部会員が思い入れのある切手を「任意」に記述できるようにしました。

部会メンバー全員の43名に往復はがきを送付し、32名(75%)から

回答があり、まとめの作業に入りました。予想以上に日本切手が上位にランクアップされたこと、任意選出の切手66枚を含めて人気のバラツキが多いこと、年齢層などによっても好みが異なることなど、部会員の好みの多様さと、副次効果として収集傾向まで把握することができました。

アンケート調査では、上位20位までは個別に順位を付けてもらい

コラム① ルーブル美術館の至宝「モナ・リザ」

「モナ・リザ」のモデルについては、1550年、ジョルジョ・ヴァザーリが『画家・彫刻家・建築家列伝』に、フィレンツェの商人フランチェスコ・デル・ジョコンドの妻(リザ・デル・ジョコンド)であると記述しています。

その後、いろいろ異説が唱えられていましたが、2008年1月14日、ドイツのハイデルベルク大学図書館は、モデルが「リザ・デル・ジョコンド」であることを裏付ける文献が見つかったと発表。“レオナルドは今リザ・

デル・ジョコンドの肖像を描いている”との記述が1503年10月になされており、レオナルドが「モナ・リザ」を描いていた時期と重なり、ヴァザーリの記事が裏付けられました。

“美しさのシンボル”は、どのパーツも美しく、フランスからは「目」、イギリスからは「唇」の部分が発行されています。また1974年の「モナ・リザ」来日時には、異国ハンガリーから「モナ・リザ アジア訪問」のタブ付き切手が発行されています。



タブに「モナ・リザ」の目を採用(フランス・1993年)。



上・「唇(口元)」をデザインした切手(イギリス・2000年)、右・「モナ・リザ」来日を記念した切手(ハンガリー・1974年)。



[50%]

※力コミ内、特記外、65%縮小。



27位 カード遊びをする男たち(セザンヌ/印象派/1890-92年) [フランス・1961年]

「近代画家の父」として知られるセザンヌが故郷プロバンスで描いた作品。黙々とカード遊びをする農夫は、敬虔な宗教性さえ感じさせる。



28位

サン・シストの聖母(ラファエッロ/ルネサンス/1516年) [イタリア・1983年]
「聖母子の画家」として知られ、数多く名作を残したラファエッロの作品。親近感ある聖母子像のスタイルを完成させた。



30位

レカミエ夫人(ジェラルド/フランス古典主義/1805年) [フランス・1950年]

レカミエ夫人とは、フランス執政府時代(1799-1804)に、美貌と知性を兼ね備えた女性で、そのサロンには多くの文人、政治家が集まったという。[90%]



白い馬(ゴガン/印象派/1898年)

〔仏領ポリネシア・1958年〕

最愛の娘アリーヌの死の知らせを受け、ゴガンは砒素(ひそ)を服毒し、自殺を図った後に描いた作品。牧歌的な情景を描く。

(「個別順位付け」、21位から50位までは順位を付けずに○印(「○印選出」)を付けてもらった結果、日本切手を収集対象としている方は、1位から20位までの大半が日本切手となっていることなども考慮し、「個別順位点」と「○印選出点」に重み付けした上で、平均評価を行い決定しました。

最終的に選ばれたベスト50の切手の傾向を別表(8～9頁)にまとめ

てみましたので、ご覧ください。

【絵画切手収集の楽しみ】

絵画切手収集は趣味ですから、切手展での競争出品以外は特別なルールはなく、ルールは自分で創れば良いものと考えます。絵画切手収集の楽しみは、

(1)原画を美術館で鑑賞して、頭の中で切手と見比べる時の充実感のはたまりません。今年もルーブル美術館(フェルメール「レースを編む女

性」10)や、ボストン美術館(ゴガン「我々はどこから来たのか、我々は何か、我々はどこへ行くのか」37)などの展示があり、堪能できました。

(2)収集面では、自分で集めた切手により、画家別、画題別、絵画史別、発行国別、美術館別など、思いのままに「バーチャル美術館」を創り上げることが出来るのが、大きな楽しみだと思います。

切手を入し、資料をいろいろ

31位



夕映えの睡蓮(モネ/印象派/1897-98年)
【フランス・1999年】

モネは生涯で約2,000点の油彩画を描いたが、晩年はジヴェルニーの自宅庭園で「睡蓮」の連作を制作した。切手原画は初期の1898年に描いたもので、以降1926年までの28年間で約230点の「睡蓮」を描いた。切手は美しい白と青が基調で、モネのサインも採用されている。

31位



ぶらんこ(ルノワール/印象派/1876年)
【フランス・1991年】

木の間からもれる光を、青、バラ色、緑の玄妙な色彩移行によって、独特の効果を生みだし、鮮やかな生気を感じさせる作品。

※8～9ページ、特記外、90%縮小。

33位



荘厳の聖母(オニサンティの聖母)(ジョット/イタリア絵画の創始者/1306-10年頃)
【イタリア・1966年】

ルネサンスの聖会話形式の祭壇画の原型をなす、ジョットの代表的傑作。現在はウフィッツ美術館の至宝の一つ。[原寸]

32位

コラム② 「フレスコ画」と「油彩・テンペラ画」による壁画

フレスコは“新鮮な”を意味するイタリア語で、壁に漆喰を塗り、その漆喰がまだ生乾きの間に水または石灰水で溶いた顔料で描く絵画技法です。フレスコ画は、古くはラスコーの洞窟壁画にもあり、ルネサンス期にも盛んに描かれ、ミケランジェロの「システィナ礼拝堂の天井画・最後の審判」などが知られています。

一方、乾性油で顔料を練り上げる油彩画は、基材が板絵として始まりました。その後、レオナルド・ダ・ヴィンチが果敢に壁画に挑戦したのが、ミラノにある「最後の晩餐」です。

システィナ礼拝堂の天井画と正面祭壇壁画の20世紀最大の修復(1985～1991年)時には、パチカン市国から記念切手が多数発行されました。また「最後の晩餐」も、1977年から1999年にかけて一人の女性修復家によって修復が行われ、イタリアから単色の切手が発行されました。

システィナ礼拝堂では、連日多くの観光客を入室させていますが、「最後の晩餐」があるサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ修道院は予約制で、一度に25名・見学時間15分と制限。両技法の耐久性の差が表れています。



「天体の創造」(ミケランジェロ/パチカン市国・1994年)。[60%]



「最後の晩餐」(レオナルド・ダ・ヴィンチ/イタリア・1998年)。

※カコミ内、特記外、75%縮小。

と探求して、アルバム・リーフに小さな名画を貼り込んでいくプロセスも楽しいものです。探求は一人でやるよりも、同じ趣味の人たちとデータ共有することが効率的であり、仲間を広げるチャンスでもあります。名画切手による、世界に一つの“バーチャル美術館”の館長さんなんて、凄いロマンだと思います。皆さんも今日から一緒にチャレンジしてみませんか！

【おわりに】

ベスト50の選出を終え、誌上で紹介できなかった、数々の素晴

らしい絵画切手が改めて脳裏に浮かびます。

今回、JPS絵画切手部会としての選出結果をご覧になり、「なぜあの切手が選ばれなかったのか？」と疑問や不満に思われる方もいらっ

しやるかと思います。そう感じられた多くの方々が「絵画切手」の魅力に惹き付けられ、これから一緒に絵画切手収集を楽しめたらと祈念しながら執筆を終えます。

(執筆：奥村利昭、中野 晶、江村 清)

ベスト50：切手発行年と画題テーマ

	肖像画	人物画	風景画	宗教画	神話画	歴史画	風俗画	計
1940年以前	2	1					1	4
1941～1950年	1	1	1					3
1951～1960年	5	2	1	2			2	12
1961～1970年		5	1	2		1	3	12
1971～1980年	3	1	2					6
1981～1990年	1	1	1	1			1	5
1991～2000年			3	1	1	1	2	8
2001年以降								0
計	12	11	9	6	1	2	9	50

コラム③ パケットシリーズの魅力

絵画切手を初めてパケット(セツト)の形で発行したのはスペインで、1958年から1979年まで、自国を代表する画家ゴヤ、ベラスケス、ムリーリョ、ピカソらの名作10種シリーズを発行しました。

その後、多数の国から同時に画家または美術館所蔵作品を発行する、パケットシリーズが多く出されるようになります。例えば、1977年のルーベンス生誕400年記念、1996

年のメトロポリタン美術館125年記念、2006年のレンブラント生誕400年記念などです。

これら多数国より発行された切手は、競争展出品を念頭に置くと無視することもできますが、美麗に原作を再現しており、ついつい購入してしまう方も多くいます。美術館鑑賞の手引きや、画家の画風の変遷などを知るのに欠かせない存在であるのも事実です。

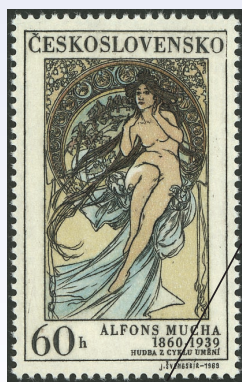


「トレドの展望」
(エル・グレコ/レント・1988年)

「ガニュメデスの誘拐」(レンブラント/ツバル・2006年)。(40%)



※カゴ内 特記外 65%縮小。



芸術(絵画)(ミュシャ/アル・ヌーヴォー/1898年)「チェコスロバキア・1969年」伝説的な女優サラ・ベルナルのポスターを制作し、パリ中の話題をさらい、その後も装飾性豊かなポスター、版画で一世を風靡した。

34位



シンフォニー・新婚旅行(シュヴィント/ドイツロマン主義/1852年)
【オーストリア・1933年】

シュヴィントは、明るい豊かな小市民的生活を描く。この作品は高さ169cmあり、その最上段の部分。[原寸]

37位



我々はどこから来たのか、我々は何か、我々はどこへ行くのか
(ゴーガン/印象派/1897年)
【仏領ポリネシア・1985年】

第2次タヒチ滞在中の作品で最高傑作の一つ。本作の解釈については諸説唱えられている。2009年来日し、話題を呼んだ。[85%]



風景の中の自画像
(ルソー/素朴派/1890年)
【チェコスロバキア・1967年】

まだバリの税関吏であった時、「画家」としての自分を描いた。パレットには、ルソーの二人の妻の名が記されている。ピカソは、写実と幻想の交差する素朴で独創的なルソーの芸術を讃えた。

ベスト50：切手発行国と絵画史

	西洋絵画								日本絵画		計
	ルネサンス	バロック	ロココ	新古典	ロマン	印象主義	世紀末	20世紀	浮世絵	近代	
イタリア	3										3
バチカン市国	1										1
オーストリア							2				2
オランダ		1									1
国連						1					1
ザール	1										1
スペイン		3	1								4
チェコスロバキア							2	2			4
ドイツ(西ドイツ)	2										2
東ドイツ		1									1
日本									7	2	9
仏領ポリネシア						2					2
フランス		1	1	1	1	5		1			10
ベルギー		1					1				2
ポーランド	1										1
モナコ	1			1		1	1				4
ソ連		1				1					2
計	9	8	2	2	1	10	6	3	7	2	50



38位

聖家族と聖アンナ(エル・グレコ／マニエリスム／1595年頃)「スペイン・1961年」
 <聖家族を主題に描いたエル・グレコの最も優れた作品。切手はマリアの顔のみ。>



39位

宮廷の侍女たち(ラス・メニーナス(ベラスケス／17世紀スペイン／1656年)「スペイン・1959年」
 ベラスケスのライフワークともいえるべき集団肖像画。中心に立つのは王女マルガリータ。背後の壁の鏡には、国王夫妻が描かれている。

40位



井財天妃の櫛(棟方志功／現代版画家／1974年)「日本・1982年」

丸顔で大きな瞳、小さな口、色白の顔の頬と耳たぶにつけられた丸い紅。棟方の色彩感覚は特別で、赤の使い方が上手い。[90%]

41位



学習「歌」(フッゴナル／ロココ／1769年頃)「フランス・1972年」
 現在までに15作品が確認されている幻想的肖像画の一つ。おそらくは声楽家が歌を終え、観客の方を向いた姿を基にして描かれた女性像と思われる。[85%]



42位

善き牧者としての幼児キリスト(ムリーヨ／17世紀スペイン／1660～65年頃)「スペイン・1960年」
 愛らしくも神の子の威厳を備える幼児イエスの神々しい描写が、ムリーヨの独特で高い表現力を示している。

※当ページ、特記外、原寸。

45位



石壁に肘を付く自画像(レンブラント／17世紀オランダ／1639年)「オランダ・1956年」

レンブラントは、数多くの自画像を描いたことで知られる。自画像は、その時々彼の内面的変化を伝えている。

44位



43位



光の帝国(マグリット／シュルレアリスム／1953-54年)「ベルギー・1993年」

昼と夜を同時に描く、マグリットのイメージの攪乱の絵画を代表する1点。22点のバージョンがある。[85%]

コラム④ 文化勲章受章画家がデザインした切手

竹内栖鳳、藤島武二、横山大観ら多くの画家が文化勲章を受章しており、作品も切手に採用されています。ここでは、ここ10年程の間に文化勲章を受賞された画家を切手とともに紹介します。

1998年受賞の平山郁夫(1930～)は、現代日本画壇の最高峰に位置する日本画家。2008年8月に発行された「日中平和友好条約30周年記念切手」に、「法隆寺五重塔」をはじめとする日本・中国の世界遺産を描いています。このほか、

1999年発行のふるさと切手神奈川版「源頼朝」なども平山氏によるものです。

2004年受賞の福王寺法林(1920～)は、「ヒマラヤ連峰」などの作品で知られている日本画家で、生まれ故郷である山形県のふるさと切手「サクランボ」(1989年・1999年)を描いています。

また、2006年に受賞した故大山忠作(1922～2009)も、生まれ故郷の福島県のふるさと切手「モモ」(1990年)を描いています。



上・平山郁夫(法隆寺五重塔)、右上・福王寺法林(サクランボ)、右・大山忠作(モモ)。



※カコミ内、75%縮小。

コラム⑤ 絵画切手部会展の小型印

2003年から毎年、絵画切手部会展を目白「切手の博物館」で開催しています。会員の力作の展示とともに、好評を博しているのが絵画をデザインした小型印です。

小型印のデザインは、毎年、澤口尚子さんにお願いしています。澤口さんは、デザイン

するにあたり、画家の制作の姿勢や作品への思い入れなどを広く調査されています。また、関連する独自のカードや初日カバー・カシエも作られています。澤口さんがデザインされ、郵政で採用された小型印と風景印は、すでに100種近くになっているそうです。



2008年の小型印。「蝶」(藤島武二)をデザイン。
[30%]



2006年の小型印。「湖畔」(黒田清輝)をデザイン。



46位

ヴォルガの舟曳き(レーピン)／ロシア移動派／1870～1873年
(ソ連・1956年)
帝政ロシア時代の過酷な労働を強いられた舟曳き人夫を描く。



47位

※当ページ、特記外、80%縮小。

コタン小路ユトリロ／近代フランス／1911年(モナコ・1983年)
ユトリロの「白の時代」といわれるアルコールに溺れていた頃、身近なパリの風景を描いた初期の作品。

48位



麦わら帽子(ルーベンス)／バロック／1622年頃
[ベルギー・1939年]

麦わら帽子ではないのに、何故か18世紀末からこの名で通っている。[原寸]



49位

自画像ピカソ／20世紀最大の画家／1907年(チェコスロバキア・1972年)
ピカソは多くの自画像を描いているが、これはキュビズム時代の大傑作『アヴィニヨンの娘たち』と同時期の自画像(26歳)。



50位

接吻(クリムト／ウィーン分離派／1907-08年) [オーストリア・1964年]

クリムトの絢爛たる工芸的な美しさを現した「黄金様式」の中で、抱き合う男女を描いた最も有名な作品。[原寸]

「JPS絵画切手部会」のご案内

JPS絵画切手部会は、絵画切手収集はもとより、絵画そのものの展示会参観などを趣味とする人たちの集まりです。

JPS部会として登録されたのは2000年になりますが、登録前から橋本会長が世話人となり、クラブとして仲間を集め、1998年に「絵画切手クラブ会報」を発行しました。以来、毎月欠かさず発行し、現在133号に至っており、会報は絵画切手の美しさを表現したいということから、2004年よりフルカラー化しています。

会員は北海道から九州まで全国各地に散在しており、毎月発行の部会報(タイムリーなニュースと切手・原画データなど／

B5判・16ページ)が自慢の一つです。

また、2003年から毎年、目白の「切手の博物館」でミニボックスを開催しており、世界各国のあらゆる年代の絵画切手を展示し、会員の収集レベル向上と会員拡大などに努めています。これらが評価されて、今年の全国会員大会において、優良部会として表彰されました。今後もますます部会活動を充実・活発化するように努めていきます。

年会費は3,000円です。お問い合わせやご入会の手続きは下記事務局まで。

【お問い合わせ先】

〒222-0023 横浜市港北区仲手原2-24-16 江村方 JPS絵画切手部会事務局
TEL: 045-432-5431 [担当] 江村 清
E-mail: k_emura@nifty.com



「絵画切手クラブ会報」最新号より。B5判・フルカラー16ページで、毎月発行。